

ああ担いて往かん

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝 文責 大森 朗輝

民間就職試験はじまる

夏休みを返上し面接試験対策や、筆記試験対策に励んできました。コロナ禍により求人などの動向が例年とは異なる中、いわゆる第1陣の試験に、民間就職希望書全員が臨むことができます。高校3年間で培ってきたことを十分に発揮して、内定を勝ち取ってくることを期待します。



1・2年生へ 民間就職試験とは…

高校生の就職は、各企業が各高等学校を窓口にして「求人票」により募集します。(全ての高校宛てに出される求人もあれば、**千歳高校にだけ出される求人**もあります)

例年9月の中旬に就職試験が解禁となり、基本的に1人1社の受験となります。(内定したら必ず入社する。内定とならなかった場合、その時点から次の会社の入社試験に応募する)大学生や専門学校生は、多くの企業を次々と受けていくつかの会社から内定をもらい、最終的に1社に決めますので、そのイメージとは違います。

10月以降は、大学等の推薦を利用とした受験が始まります。面接試験対策や小論文を含めた筆記試験対策が本格化します。自分自身の進路実現に向けて真剣に取り組みましょう。(追い込まれすぎて気持ちが落ち着かないときは家族や友人と話すなりしましょう。)

前期を終えるにあたって

各クラスにて前期期末考査の得点通知表などが配付されました。学期間休業から後期の開始に向けて、前期の成績表が郵送されます。この機会にこれまでの半年間を振り返ってみてください。しっかり取り組めた教科・科目や、苦手を克服しなくてはならない教科・科目があることでしょう。勉強に対する自分自身の取り組み方が確立できていれば、後期の考査や検定試験なども怖くはないですが、どうやって勉強したらいいのかわからないという人は、努力が成果に表れにくくなります。勉強の得意な友人や先生方から勉強のやり方を学びましょう。

部活動もコロナ禍で充分に取り組めていない部分もあると思いますが、効果的な活動とすることができるよう工夫をして頑張りましょう。(活動が大幅に制限されていますが、時間がない場合は効率や効果を考えてみよう。)国際流通科の生徒は部活動でのリーダーシップも期待します。

また、1・2年生は3年生の様子を見ながら、自分自身の進路についてじっくりと考えてみましょう。勉強などに対するモチベーションもはっきりしてきます。目標がはっきりしている人は、努力を惜しみません。具体的な進路がまだ上手くイメージできない人は、身近な目標を設定することも大切です。(後期中間考査で〇位になるとか、〇〇検定に絶対に合格するとか…。)

9月情報処理検定にむけて

16時完全下校のため、学校での学習時間は制限されますが、家庭で勉強することは全く制限されていません。ですから部活動に所属していて、大会前で特別練習をさせてもらっている生徒も通常であれば18時頃まで活動していたのが、2時間早い16時には活動を終えているので、毎日2時間はいつもより勉強できると考えることができます。(ピンチをチャンスに!)

情報処理検定に向けた放課後の講習会を企画しましたが、16時完全下校にあわせるため、ポイントを絞った形での実施となりました。

今回は、ビジネス情報1級を受験する生徒(3年・2年)を合同で実施しました。クラスだけではなく学年も混ぜて実施することに抵抗感を持つ生徒もいるかと心配しましたが、3年生が意欲的に参加してくれたためほどよい緊張感が生まれました。

通常は各クラスの教科担任がそのままのクラスに対して講習を行うことが多いのですが、今回は講師も3名で交代で実施したため、同じ「SQL」の問題でも、説明の仕方などに違いがあり、各生徒の理解が深まったのではないかと考えています。



部活動の関係で参加できない生徒も、講習のプリント持ち帰って自宅で学習しています。

きっかけは何であれ、最終的に自分で取り組むことが一番大事です。

難関の検定の一つですが、最後まで諦めることなく挑戦をしましょう。

1年生は今回3級を受験します。放課後は実技を中心に講習を実施しています。ほとんどの生徒は、現時点で筆記・実技ともに合格圏内だと思いますが、1月には2級を受験し、来年の9月には1級を受験しますので、3級に関しては100点合格を目指しましょう。70点以上で合格にはなりますが、30点分のマイナスから2級を学習するのでは差が出ます。

現1年生には、来年の1級合格者数で、現2・3年生を上回れるよう頑張ってもらいます。

